

川崎市 高潮ハザードマップ

川崎区版



Colors, Future!
川崎市
令和8年5月改訂

高潮とは（発生メカニズム）

① 気圧低下による吸い上げ
台風や低気圧の中心では気圧が周辺より低いため、気圧の高い周辺の空気が海水を押し下げ、中心付近の空気が海水を吸い上げるように作用する結果、海面が上昇します。気圧が1hPa（ヘクトパスカル）下がると、潮位は約1cm上昇するとされています。

② 風による吹き寄せ
台風や低気圧に伴う強い風が沖から海岸に向かって吹くと海水は海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が上昇します。風速が2倍になった場合、海面上昇は4倍となります。

③ 吸い上げ効果による潮位上昇
④ 吹き寄せ効果による潮位上昇

高潮と津波の違い

高潮と津波は発生要因が異なるため、特徴が異なります。

高潮とは	津波とは
発生要因 台風や発達した低気圧により発生 特徴 気圧の低下と吹き寄せ効果により海面が上昇する。また高気圧より、電磁誘導による大きな波が発生する。	発生要因 海底で起きる地震により発生 特徴 海底から海面までのすべての海水が巨大な水の塊となって沿岸に押し寄せ、そのため破壊力が凄まじい。

高潮発生時に注意すべき事項

高潮が発生した場合、海水が陸地へ流れ込み浸水による被害を起します。特に、次のような場所や時間には気を付ける必要があります。

- 海岸近くの低地**
海岸近くの低地では、高潮による浸水被害が起る危険性が高くなります。
- 湾の奥部や河口部**
湾の奥は吹き寄せられた海水が集まり、水位が上がります。河口部では高潮と洪水が重なる危険性があります。
- 大潮の満潮時**
台風接近時に最も潮位の高くなる大潮の満潮時と台風の接近が重なった場合、高潮の危険性が高くなります。

高潮と台風

「台風」は高潮を引き起こす要因である「低気圧」と「強風」を併せ持っています。台風の接近が予想される場合、高潮発生の可能性が高くなります。

台風と進路の関係	台風の強さ（最大風速）
台風は進行方向に対して右側の風が強くなり、吹き寄せ効果による高潮が発生しやすくなります。	強い台風 33m/s (64ノット) 以上～44m/s (85ノット) 未満 非常に強い台風 44m/s (85ノット) 以上～54m/s (105ノット) 未満 猛烈な台風 54m/s (105ノット) 以上

避難情報・避難行動について

気象情報と避難情報の関連性

※総合的に判断するため、警戒レベル（避難情報等）と警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

警戒レベル	状況	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	災害の発生又は切迫	既に災害が発生又は切迫している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。 ＜警戒レベル4までに必ず避難＞	緊急安全確保（川崎市が発令）
警戒レベル4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難をしましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内でより安全な場所に避難をしましょう。	避難指示（川崎市が発令）
警戒レベル3	災害のおそれあり	避難に時間を要する人（高齢の方、体の不自由な方、乳幼児等）とその支援者は危険な場所から避難をしましょう。その他の人は避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難（川崎市が発令）
警戒レベル2	気象状況悪化	避難に備え、ハザードマップ等により自らの避難行動を確認しましょう。	レベル2 大雨注意報等（気象庁が発表）
警戒レベル1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高めましょう	早期注意情報（気象庁が発表）

警戒レベル相当情報例

相当する警戒レベル	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	1級河川などの大規模な氾濫	低地の浸水や大規模な氾濫	レベル5 土砂災害特別警戒	レベル5 高潮特別警戒
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫特別警戒	レベル4 大雨特別警戒	レベル4 土砂災害危険警戒	レベル4 高潮危険警戒
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警戒	レベル3 大雨警戒	レベル3 土砂災害警戒	レベル3 高潮警戒
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報

風水害時の避難行動とは

避難行動には避難所等に避難をする「**立ち退き避難**」と、自宅の2階など自宅内で安全な場所に避難をする「**垂直避難**」があります。

状況により避難行動は変わりますが、「避難」とは「難」を「避」けることであり、避難所へ行くだけが避難ではありません。また高潮の避難行動は風水害時の避難行動と同じです。

下の「状況に応じた避難行動」のフローチャートで風水害時、自分がどのような行動をするよいか確認しましょう。

状況に応じた避難行動

自宅が浸水想定区域内にある。 → はい → 立ち退き避難
 自宅が洪水ハザードマップの家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）の内にある。 → はい → 立ち退き避難
 自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）の内にある木造住宅である。 → はい → 立ち退き避難
 浸水の深さが建物の最上階の床の高さを上回る。 → はい → 垂直避難
 浸水が長時間（3日間以上）継続する地域に住んでいる。 → はい → 垂直避難

（1週間程度の準備をしましょう）

立ち退き避難の注意点

- 動きやすい服装を心掛け、非常用持出品はリュックサック等に入れて両手が使えないようにしましょう。
- 運動靴を履き、浸水した場所を移動する際は、杖等で足元を確認しながら避難をしましょう。
- 風水害時は避難所の備置は原則開放しないので必要な物は非常用持出品に入れましょう。
- ベットと避難する際はベットをゲージに入れて避難をしましょう。

日頃の備えについて

非常持出品とは避難した場所で何日かを過ごすために必要な物のことです。風水害時に緊急避難するときや、震災時に一時的に避難場所で身の安全を確保するときなどの場合に持ち出すものです。すぐに持ち出せるよう、持ち出しやすい場所にあらかじめ置いておきましょう。

非常持出品について

水・食料	<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 携行食・非常食 <input type="checkbox"/> 粉ミルク・離乳食
医療・衛生	<input type="checkbox"/> 常用薬 <input type="checkbox"/> 救急医薬品 <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> アルコール消毒薬
貴重品	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> マイナンバーカード・資格確認書・預金通帳（コピー可）
安全対策	<input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 厚底の靴
道具類	<input type="checkbox"/> 充電器・モバイルバッテリー <input type="checkbox"/> 乾電池 <input type="checkbox"/> 時計 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ
衣類	<input type="checkbox"/> 防寒着 <input type="checkbox"/> 下着・靴下 <input type="checkbox"/> レインコート
生活用品	<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ・ティッシュ <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ごみ袋・ポリ袋

マイタイムラインについて

「マイタイムライン」とは、大雨や台風などの風水害にそなえて、一人ひとりの家族や生活の状況に合わせた避難行動、自分の逃げ方を考えておくものです。「いつ」「誰が」「何をやるのか」をスケジュールにまとめておくことで、いざという時にあわてずに行動をとる助けになります。

マイタイムラインホームページ

マイタイムラインを作ってみよう

警戒レベル	目安時間	市・県・気象庁等から発令される情報	自分や周囲の人の行動
警戒レベル1	数日前	早期注意情報	例：スーパーは通常通り営業しているので、台風が備えて、多めに買い物をする。
警戒レベル2	半日～数時間前（高潮注意報は氾濫のおそれがある約18時間前までに発表）	レベル2 氾濫注意報 レベル2 大雨注意報 レベル2 土砂災害注意報 レベル2 高潮注意報 ・等	例：台風に備えて外に置いてある自転車等を家の中に入れる。
警戒レベル3	数時間～3時間前（高潮警戒は氾濫のおそれがある約12時間前までに発表）	レベル3 氾濫警戒 レベル3 大雨警戒 レベル3 土砂災害警戒 レベル3 高潮警戒 高齢者等避難・等	例：避難に時間を要する事情がある場合は、危険な場所から避難する。
警戒レベル4	2時間前～（高潮危険警戒は氾濫のおそれがある約6時間前までに発表）	レベル4 氾濫危険警戒 レベル4 大雨危険警戒 レベル4 土砂災害危険警戒 レベル4 高潮危険警戒 避難指示・等	例：安全な場所に避難を開始する。
警戒レベル5	0時間	レベル5 氾濫特別警戒 レベル5 大雨特別警戒 レベル5 土砂災害特別警戒 レベル5 高潮特別警戒 緊急安全確保・等	例：より安全な場所に避難し、危険が去るまで待避。

高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）

浸水継続時間（浸水深0.5m以上）

- 1週間以上
- 3日以上～1週間未満
- 1日以上～3日未満
- 12時間以上～1日未満
- 12時間未満または浸水深0.01m以上0.5m未満

各種マップについて

指定避難所や広域避難場所、避難所圏域、災害時応急給水拠点等を表示した防災マップです。

川崎市防災マップ 川崎区

洪水ハザードマップ
想定最大規模の降雨が降り、河川が氾濫した場合の洪水浸水想定区域や避難所等を表示したハザードマップです。

内水ハザードマップ
大雨や河川の水位が高い時に、下水道や水路等から水があふれた場合の浸水想定区域を表示したハザードマップです。

津波ハザードマップ
川崎市に最大の津波被害をもたらすと想定されている「慶長型地震」の津波浸水予測を表示したハザードマップです。

情報収集について

川崎市防災ポータルサイト
川崎市の防災に関する情報を集めたWebサイトです。災害発生時には、緊急情報、避難所開設情報などを発信します。

かわさき防災アプリ
川崎市からの緊急情報や避難情報を確認できるほか、気象情報、各種ハザードマップをアプリで確認することができます。

【川崎市危機管理本部】公式 X
危機管理本部の公式X（旧：Twitter）です。川崎市の防災に関する情報を発信していますので、ご利用の方はフォローしてください。

川崎市 LINE 公式アカウント
災害時には、重要なお知らせをご案内します。「川崎市」をぜひ「友だち登録」してください。

川の防災情報（国土交通省）
河川の水位や雨の情報から氾濫の危険度、浸水の危険性が高まっている河川等を確認することができます。

川崎市防災気象情報 Web サイト
川崎市及び周辺部における気象・地震情報等をまとめたWebサイトです。

高潮ハザードマップ HP
高潮ハザードマップの電子データのほか、高潮浸水継続時間や家屋倒壊等氾濫想定区域の電子データを確認できます。

メールニュースかわさき「防災気象情報」
川崎市の防災情報を発信します。配信を希望する方は空メールを送信して登録してください。

防災行政無線（屋外スピーカー）
地震や大雨等の災害情報などを市民へ伝達する手段として屋外スピーカーを設置しています。なお、放送内容は「防災テレホンサービス」により電話で聞くことができます。

<防災テレホンサービス>
神奈川県内の一般加入電話、公衆電話及び一部のIP電話 0120-910-174（通話料無料）
神奈川県内の一般加入電話、公衆電話など 044-245-8870（通常の通話料金）

【川崎市高潮ハザードマップ 発行・企画：川崎市危機管理本部危機対策部 川崎区版】
TEL:044-200-2858 FAX:044-200-3972 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地
制作：東京グラフィック株式会社 川崎市ホームページ https://www.city.kawasaki.jp/601/page/0000116702.html